

平成16年度 事業報告書

〔自 平成16年4月1日～至 平成17年3月31日〕

社団法人 日本小児保健協会

社団法人 日本小児保健協会

平成16年度事業報告（自 平成16年4月1日～至 平成17年3月31日）

1. 会 員 数

	平成16年3月31日現在	平成17年3月31日現在
普通会員	5,654名 (個人 5,292 機関 362)	5,513名 (個人 5,143 機関 370)
賛助会員	17社	16社

2. 事 業

1) 日本小児保健学会の開催

第51回日本小児保健学会は、岩手医科大学小児科 千田 勝一教授を会頭のもと、平成16年10月28日(木)、29日(金)、30日(土)の3日間、「小児保健課題と挑戦」をテーマとして、盛岡市民文化センター（岩手県盛岡市）にて開催された。参加者数は、1,500名であった。

2) 役員会等の開催

全国理事会2回、支部長会2回、常任理事会6回、評議員会1回、編集委員会7回、新生児委員会1回、予防接種委員会1回、学校保健委員会1回、小児医療委員会1回、発育委員会1回、合同委員会1回を開催し、本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

3) 機関誌等の刊行

雑誌『小児保健研究』を6冊（第63巻3号～第64巻2号）刊行し、第63巻1号以降の研究論文は、日本小児保健協会のホームページから閲覧可能とした。また、小児保健シリーズとしては、No.58『21世紀の小児のメンタルケア－困難な時代を生きる子らを支えるために－』の1冊を刊行した。

4) セミナーの開催

第21回小児保健セミナー『21世紀の小児のメンタルケア－困難な時代を生きる子らを支えるために－』を、平成16年6月20日（日）野口英世記念会館にて開催した。参加者は、175名であった。

5) 協会活動

①編集委員会・発育委員会・新生児委員会・小児医療委員会・予防接種委員会・栄養委員会・学校委員会・健やか親子21第4課題推進会議委員会のそれぞれが本協会の目的のために活動した。

②平成16年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定し、第51回日本小児保健学会総会時に表彰式を行った。

《研究助成》

1. 堤 ちはる (日本子ども総合研究所母子保健研究部)

『乳児の栄養法と血中ヘモグロビン濃度に関する縦断的研究』

《実践活動助成》

1. 石川県小児保健協会 兼松 謙三 (石川県小児科医会)

『石川はしかゼロ作戦』

2. 栃木県小児保健協会 下泉 秀夫 (国際医療福祉大学)

『虐待ネットワーク』

3. 山梨県小児保健協会 岡本 まさ子 (小笠原保健所)

『ノースモーキングヘルシーキッズ

－子どもたちをタバコの害から守る－』

《発達臨床研究賞》

1. 荒木田 美香子(浜松医科大学医学部看護学科)

『中学生の精神的健康状態とその要因に関する検討－第1報－』

(小児保健研究 第62巻6号掲載)

③スマトラ沖津波被害児に対する義援金を拠出した。

3. 平成16年度総会

平成16年度総会は、平成16年10月29日(金)、盛岡市民文化センター(第51回日本小児保健学会)において出席者75名に委任状2,575通を加え、会員の過半数に達したことを確認した上、議長に会頭・千田 勝一先生を選出し、議事録署名人に近藤 洋子・太田 百合子両会員を指名し開催され、下記の各議案が承認された。

- 1) 平成15年度事業報告・収支決算報告・監査報告およびその承認
- 2) 平成16年度事業実施報告
- 3) 平成17年度事業計画案(自 平成17年4月1日～至 平成18年3月31日)
および平成17年度予算案の承認

(I) 平成17年度事業計画(案)

1) 日本小児保健学会の開催

第52回日本小児保健学会は、山口大学医学部生殖・発達・感染医科学講座古川 漸教授を会頭として、平成17年10月6日(木)・7日(金)・8日(土)の3日間、海峡メッセ下関(山口県下関市)を会場として開催される。

テーマ『健全な社会に向けての小児保健』

2) 機関誌等の刊行

『小児保健研究』を年度内に6冊刊行する。また、小児保健シリーズを1冊以上刊行し、支部活動に役立てる。

3) 講演会等の開催

支部と共同して、母子保健指導研修会を含む研究会・講演会等を開催する。

4) 教育普及の拡充

協会の事業として教育普及の拡充につとめる。

第22回小児保健セミナー『不定愁訴を持つ子どもへのアプローチ』をテーマとして、平成17年6月19日(日)野口英世記念会館にて開催予定である。

5) 協会活動の拡充

小児保健協会活動助成(研究助成・実践活動・発達臨床研究賞)の授賞者の決定および表彰を行う。

本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる。

(II) 平成17年度収支予算案が承認された。

4. 平成16年度収支決算報告

平成16年度収支決算は平成17年10月開催の第52回日本小児保健学会時の総会にて承認の手続きがとられる予定である。

5. 名誉会員の推薦

該当者なし

6. 人事について

支部長の交代	(地区)	(旧)	(新)
	栃 木	: 桃井真里子	: 有阪 治
	石 川	: 兼松 謙三	: 佐藤 保
	大 分	: 河野 幸治	: 泉 達郎
	北 海 道	: 堤 裕之	: 藤枝 憲二

討 報	名誉会員	松村 龍雄	平成15年11月30日
	名誉会員	大原 徳明	平成16年 2月19日
	名誉会員	宮崎 叶	平成16年 9月 7日
	名誉会員	奥田 六郎	平成16年10月16日
	名誉会員	木本 浩	平成17年 2月18日

7. 第53回以降の日本小児保健協会学会について

1) 第53回日本小児保健学会会頭

山梨大学医学工学総合研究部・医学部臨床看護学講座

教授 大山 建司

2) 第54回日本小児保健学会会頭

群馬大学大学院医学系研究科生体防御学機構小児生体防御学分野

教授 森川 昭廣

8. その他

1) 定款改定について

2) (財)学会事務センター破産に伴う件